

No.16

領域：	パブリック		
テーマ：	若者雇用問題と日本の未来		
担当者名：	前田正子		
開講時期：	前期：月曜 4・5・6限	募集定員：	25名
内容：	少子化の進む今後の日本がどうなるかということや、その背景要因を学ぶ。さらに少子化で働き手が減っているにもかかわらず、なぜニートやフリーターの若者が減らないのかなど、日本の若者の雇用状況について理解を深めるとともに、その背景にあるものや対策をめぐる処方箋を探るとともに、どのような働き方改革が必要かを考えていく。		
到達目標：	今後、少子高齢化が進み、働き手減っていく日本で、一人一人の能力を活かすためにどのような働き方改革が求められるかを各自の考えをまとめられるようにする。また社会的課題として若者雇用を扱うだけでなく、履修者それぞれが仕事や働くことについての自分なりの考え方を培うことも目標である。		
講義方法：	講義、フィールドワーク、グループワーク・発表会・レポート作成など		
準備学習：	ニュースや新聞などを見て、最近の日本の雇用で何が問題か、少子高齢化が進むと何がおこるかを考えておくこと。		
成績評価：	授業での発言・発表のレベル、履修態度・レポートおよび試験。就職活動で休むことは可ですが、発表やレポートの手抜きは許されません。		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1以上を欠席した場合は、単位を取得できません。 また履修態度が悪い者は、他の学生がよりよく学ぶことへの障害となりますので、学期途中でも不可とします。		
講義構成：	日本の少子高齢化の現状や近未来について学び、その背景を探るとともに、今後自分たちが生きていく社会がどうなるかを把握します。その後、大卒者の就職状況の理解から始め、フリーター・ニート・ひきこもりなど 若者の就職問題、日本型雇用の功罪とそれぞれの課題を順次取り上げて学びます。第15回は最終発表会です。履修者の発表および、出席者でのディスカッション、教師の講義。教科書を順次読んでいきますが、ディスカッションを活発化するためには全員が予習してくることが必要です。全員にも、該当範囲のメモを作成し提出してもらいます。公的な就労支援機関も訪問します。		
履修条件：	フィールドワークに出かける予定があるので、12時20分開始の3限の授業を履修している人はこのプロジェクトは履修不可		
推奨科目：	なし		
選考方法：	これまでの成績などで選考		
備考：	働くことについて考えるので、就職活動前の三年生で履修することが望ましい。		
説明会：	なし		